

# 財務情報

## CFOメッセージ



昭和電工株式会社  
取締役 執行役員  
最高財務責任者(CFO)

加藤 俊晴

### 企業価値のさらなる向上を目指して

中期経営計画「Project 2020+」では、収益力の向上と収益変動の抑制を重要な課題としています。2020年の計数イメージとしては営業利益700億円を挙げていましたが、2017年業績はそれを上回り、過去最高益を更新、2018年も最高益をさらに更新する予想です。

2019年から新たにスタートをする次期中期経営計画では、個性派事業の拡充により、売上高、利益水準のレベルアップを図り、高水準の利益を安定して創出する当社グループへの変貌を目指しています。

これらの実現には、「個性派事業」の拡大に向けて機会を捉えたタイムリーな投資を行い、事業の成長を図っていくことは欠かせません。また資本コストに基づく設備投資の選定基準をより明確にし、投資を厳選していきます。利益率の上昇とバランスシートの改善に向け、経営課題と連動した財務戦略を進めてまいります。当社グループでは従前より財務体質の改善に取り組んできましたが、昨今の資金調達環境にも鑑み、今後はD/Eレシオを安定的に0.7倍程度にコントロールすることを検討しており、財務政策を推進してまいります。

フリー・キャッシュ・フローにつきましては、生産性の向上や効率化経営に加え、稼ぐ力を強化すること

で最大化を図り、財務体質の安定性維持強化や、「個性派事業」の拡大に向けた非連続な投資やM&A、株主さまへの還元など、バランスが取れた使途となるよう検討してまいります。

企業価値の向上に向け、絶えず改善を続けることで、ステークホルダーの皆さまにご満足いただけるような当社グループを目指してまいります。

#### ▶ 連結有利子負債等の推移

